

### ● デザイン監修者を選定しました

駅舎や自由通路などの施設整備に当たり、新たな「まちの顔」にふさわしい駅前空間をデザインする「デザイン監修者」を、公募プロポーザルにより選定しました。

プロポーザルでは、常陸多賀駅周辺地区が目指す「暮らしやすさ」、「魅力的なにぎわい」、「持続可能なまちづくり」というテーマに対する企画提案を求め、参加者全30者の提案について、「デザイン監修者選定委員会」を設置して、審査を行いました。

※審査の詳細は、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/014/010/p105110.html>



### ■ デザイン監修者

#### 会社名

株式会社 マウントフジアーキテックススタジオ  
一級建築士事務所（東京都渋谷区）

#### 主な実績

- ・ 流山おおたかの森S・C FLAPS（2021年）
- ・ 道の駅ましこ（2016年、日本建築学会賞(作品)）
- ・ 知立の寺子屋（2016年、第62回 BCS賞） 等

※（ ）内は竣工年、主な受賞歴

#### 提案趣旨

常陸多賀地区には、生活家電の生産拠点として人々の暮らしの質を支えてきたものづくりの歴史、地域に根ざした商店街とコミュニティ、学生や若手事業者など、様々なポテンシャルがあります。

一方で、少子高齢化による人口密度の低下、空き家・空き地の増加による市街地のスポンジ化、公共施設の老朽化などの課題に直面しています。

そのような中、このまちの新たな駅前空間に期待されているのは、単に交通の結節点としての利便性や何でも揃う商業機能、一時の賑わいに止まらない、まちのポテンシャルを新たに魅力・アイデンティティとして再定義するような場であり、駅前整備のその後も地域全体に伝播し、自走していく概念を体現するあり方です。

提案イメージ



私たちは、様々な背景を持った人々、交通、情報、文化資源が交差する駅前空間を起点に、常陸多賀ならではの文脈を共有するプラットフォームとして、「**on the table**」という概念を提案します。

あらかじめ用意された空間やコンテンツを受容するだけでなく、自分たちで様々な文脈を持ち寄り、つなげ、新たに価値付けようとする、まさに“**on the table = 検討中**”である、まだ何ものでもない完結しないあり方が、常陸多賀のこれからの魅力をかたちづくっていくと考えます。

### ■ デザイン監修者の役割と今後の進め方

デザイン監修者は、駅舎や自由通路、広場などの駅周辺施設のデザインを統括・監修します。

今後、当課ではデザイン監修者と共にワークショップ等を開催し、地域の方々から広くご意見をいただきながら、常陸多賀にふさわしいデザインコンセプト（まちづくりビジョンやデザイン計画）の策定を進めます。



## ● まちづくりのトピックをお知らせします

前号でお知らせした「まちづくり講座」などをきっかけに、常陸多賀駅周辺地区では、様々な「まちづくり活動」が始動しています。今回は、その活動の一部を紹介します。

### ■ 子ども食堂（多賀り屋食堂）の開設等

令和3年3月に開催された「D I Yイベント」をきっかけとして、地域の飲食店事業者と大学生（茨城大、茨キリ大）との協力による、子ども食堂「多賀り屋食堂」が開設されました。※毎週火曜日17:00～19:00（千石町1-3-9 千石屋2階）

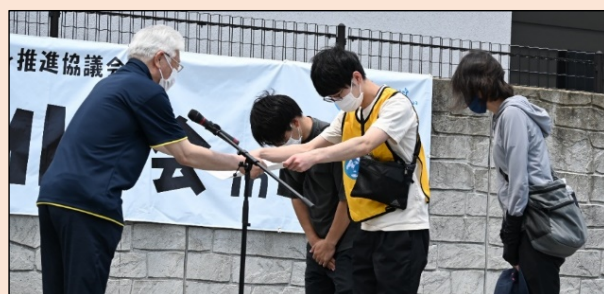
また、子ども食堂に携わるメンバーたちは、「サン・スカイ・ヒタチタガ」への協力や「かどや寄席」での“懐かしのアイスキャンディー”の自作配布、シーマークスクエアでの県産食材を使用したお弁当の自作販売など、地域の皆様のサポートを得ながら、様々なまちづくり活動を行っています。



### ■ スポGOMI大会 in 常陸多賀

令和4年5月に開催された「スポGOMI大会 in 常陸多賀」では、スポーツの一環でごみ拾いを行うことを目的として、3人1組のチームが拾ったごみの種類や量に応じてもらえるポイントを競いました。全41チーム123人の参加者が、ごみが捨てられやすい場所を予測し、競技を楽しみながらごみ拾いを行いました。

また、イベントに合わせて、常陸多賀駅周辺地区整備事業や地球温暖化に関するパネル展示が行われました。



### ■ 駅前広場ロータリー内花壇の植栽

地域事業者や学生の皆さんで構成される「常陸多賀駅前をきれいにする会」が発足し、駅前広場ロータリー内花壇の植栽活動が行われています。



## ● 常陸多賀駅周辺整備事業に関する学生提案

本市では、大学との協働調査・研究の一環として、学生に地域への興味・愛着や社会貢献意欲を高めてもらうこと、地域の交流によりまちの活力を生み出すことなどを目的に、「地域の課題解決や地域活性化に向けた学生提案」の取組みを支援しています。

### ■ 茨城大学（工学部都市システム工学科 社会基盤設計演習Ⅰ）

常陸多賀駅周辺地区を対象に、演習授業の一環として、まちづくりを学ぶ学生たちが半年間にわたる実地調査や実践活動を行い、地域の課題解決策やまちの活性化策を検討しました。

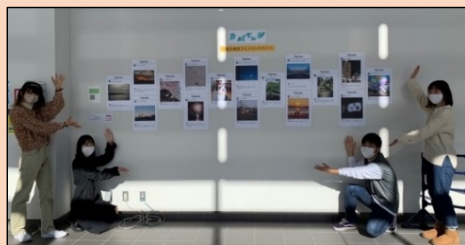
#### ▶ 令和3年度の提案内容

- ① 魅力発見フォトコンテスト「たがさんぽ」
- ② よかっぺ通り周辺の空き地等を活用したスポーツアミューズメント施設の導入
- ③ バスの利便性向上に向けた路線図やロケーションシステムの機能改善
- ④ 産官学連携による街なか社会実験の推進と地域の活性化
- ⑤ 環境に優しい自転車活用の推進
- ⑥ 「桜川緑地」や「とざわ第一児童公園」の活用による緑のネットワークの形成
- ⑦ 「古房内公園」を中心としたネットワーク形成

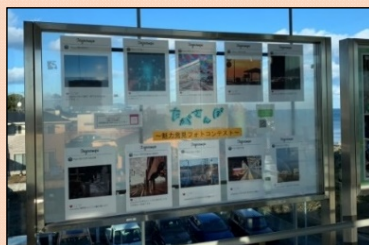


#### 【たがさんぽフォトコンテスト（実践班）】

学生主催のまちづくり活動として、まちの魅力の再発見を目的としたフォトコンテストが開催されました。Instagramやツイッター、JWAYなどで写真を募集した結果、約170点の写真の投稿があり、そのうち約40点を日立駅、常陸多賀駅前バス停などに展示し、多賀のまちの魅力の再発見につなげました。



さくらアリーナでの展示の様子



日立駅自由通路での展示の様子

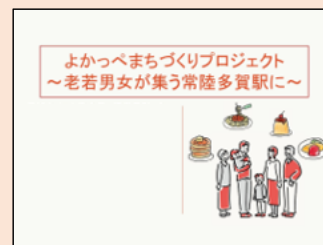
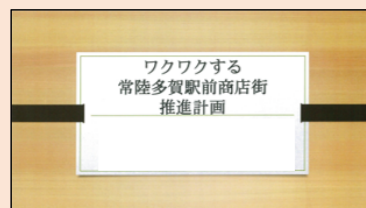


### ■ 茨城キリスト教大学（学生プロジェクト）

学生たちが、まちづくりなどをテーマに調査・研究に取り組み、その結果を発表するものです。令和3年度は、7つのテーマに対する提案発表が行われました。

#### ▶ 研究テーマ

- ① スマイル・ライフ・サポート～地域住民との交流・栄養相談の場の提供～
- ② 日立市における2025年問題の解決策に関する提案  
－高齢者が活躍できる地域社会の構築を目指して－
- ③ Hitachi e-sports project
- ④ ワクワクする常陸多賀駅前商店街推進計画
- ⑤ ポストコロナ・アフターコロナを見据えたまちづくりに関する提案
- ⑥ 若者が活躍する日立市づくりへ向けて
- ⑦ よかっぺまちづくりプロジェクト～老若男女が集う常陸多賀駅に～



※発表の詳細は市ホームページをご覧ください

<https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/004/001/p103986.html>



# ● 道路等整備に関する説明会を開催しました（令和3年7月、令和4年3月）

施設整備の影響範囲となる土地所有者等の方々を対象に、説明会を開催し、事業の概要や現在の検討状況、今後のスケジュールなどをお知らせしました。

## ■ 整備概要

### 課題 1

#### 過度な交通負荷・南北移動の阻害

- ・ 西側駅前では、送迎車と通過交通により混雑が発生
- ・ 駅周辺道路（大学通りやJR高架下）でも朝晩ピーク時に混雑が発生

### 課題 2

#### ひたちBRT機能の阻害

- ・ 現行のひたちBRTは、駅西口や駅周辺の混雑箇所をルートとしており、速達性・定時性が阻害

### 課題 3

#### 防災面の脆弱性・東西移動の阻害

- ・ JR高架下では、強雨時に冠水し、通行止めとなる可能性あり

### 道路整備の方向性

- ① 駅前交通結節機能の強化・分担及びBRT発着のため、**東口交通広場を整備**
- ② 駅周辺の混雑解消やBRT機能発揮のため、**新たな道路(バイパス機能)を整備**
- ③ 防災性を高めるため、JR高架下を回避できる**交通機能(オーバース)を整備**
- ④ 良好な道路ネットワークを構築するため、**未着手の都市計画道路を整備**

### 整備概要図



## ■ 今後のスケジュール

項目/年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8～10年度
道路等	設計作業	用地測量	都市計画決定等 (自由通路含む)	物件等の調査・補償	工事
自由通路・駅舎等		設計・協議等		工事	

問合せ先 日立市都市建設部 常陸多賀駅周辺地区整備課

☎ 0294-22-3111 内線756 (IP電話) 050-5528-5092 (E-mail) tagaeki@city.hitachi.lg.jp

